

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成 28 年 12 月 28 日 (2016.12.28)

【公開番号】特開 2015-113965 (P2015-113965A)
 【公開日】平成 27 年 6 月 22 日 (2015.6.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-040
 【出願番号】特願 2013-258794 (P2013-258794)
 【国際特許分類】

F 1 6 K 31/04 (2006.01)

F 1 6 K 31/53 (2006.01)

F 2 5 B 41/06 (2006.01)

【F I】

F 1 6 K 31/04 A

F 1 6 K 31/53

F 2 5 B 41/06 U

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 11 月 11 日 (2016.11.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2】

前記モータは、前記隔壁内に回転可能に設けられたロータと、前記隔壁に外挿されて前記ロータの外周を囲むステータと、から構成され、

前記ステータは、前記取付部材に固定支持されていることを特徴とする請求項 1 に記載の弁体駆動装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5】

前記取付部材には、前記配管を挿通支持させる支持部が、前記底板部とは反対側に延出して形成されており、

前記配管を挿通支持させる支持部において前記配管は、前記底板部から前記配管を挿通支持させる支持部の延出方向側にオフセットした位置で支持されていることを特徴とする請求項 4 に記載の弁体駆動装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 6】

前記配管は、当該配管を前記回転軸方向に貫通させた取付部材を介して前記底板部に取り付けられており、

前記底板部には、前記回転軸方向に貫通させた取付部材が前記回転軸方向から嵌入する嵌入孔が、厚み方向に貫通して形成されており、前記回転軸方向の前記回転軸方向に貫通

させた取付部材の厚みを、前記底板部の前記回転軸方向の厚みよりも厚くしたことを特徴とする請求項 4 または請求項 5 に記載の弁体駆動装置。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 7】

前記ケース側の前記係合部は、前記底板部に設けた耐圧プレートに設けられていることを特徴とする請求項 1 から請求項 6 の何れか一項に記載の弁体駆動装置。